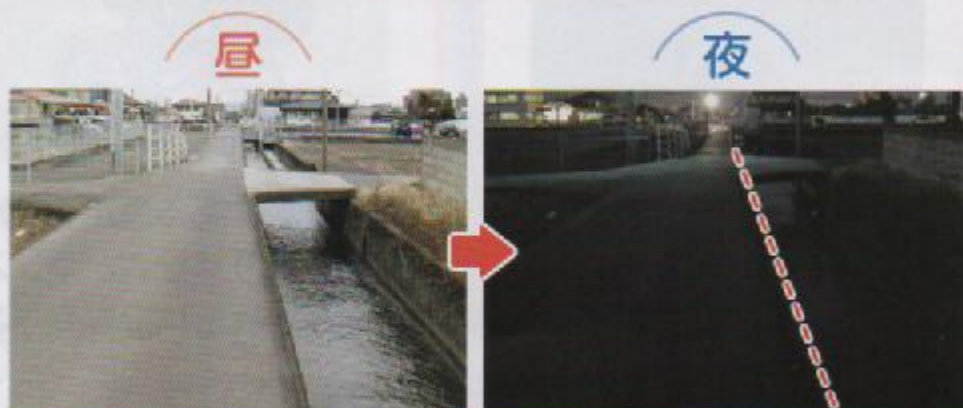


あなたの身近にもありませんか？

危険な水路に注意しましょう!!

道路脇の水路



場所によっては、道路のすぐ横には柵やガードレールのない水路があります。自転車等でバランスを崩すと、道路から水路に転落してしまいます。特に、夜間は道路と水路との境が見えにくくなり危険です。

カーブや交差点の水路



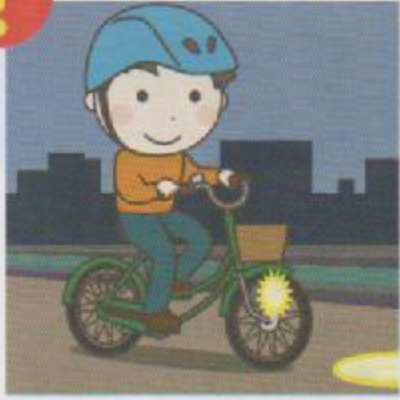
カーブや交差点の先に水路がある場合があります、近づくまで見えにくく、よそ見をしていると転落する危険が大きくなります。交差点では、見通しを良くするため、柵やガードレールが途切れている場合もあるので、特に注意が必要です。

ふた蓋のない水路



一般的に、水路は管理するために蓋を設けないものですが、宅地への進入のために蓋をしている場合があります。「蓋が続いている」という先入観があると、転落する危険性があります。特に、夜間は視覚的にも気づきにくくなり危険です。

水路に転落しないために!!



夜間は道路と水路の境が見えにくくなっています。転落を防止するため、**自転車はライトをつけ、歩行者は懐中電灯を使用**しましょう。



慣れた道でも油断は禁物です。特にお酒を飲んでいるときは自転車に乗れないのはもちろんのこと、通行にも注意が必要です。



水路が脇にある道路を自転車で通行する際、バランスを崩すと転落につながります。**重い荷物を載せない**ようにしましょう。



よそ見をせず、しっかりと前を見ましょう。**歩きスマホは転落の危険に加え、交通事故にも遭いやすくなります。**



高齢者の方が水路に転落するケースが多くなっています。日中に危険箇所を確認するとともに、台風等の水かさが増える時には、水路に近づかないようにしましょう。



危険な箇所があれば**家族や周りの人にも声をかけ、情報を共有**しましょう。

デリネーターに注目!!

デリネーター（視線誘導標）は、水路への転落のおそれがある等、道路の状況を確認していただくために設置されています。道路と水路との境界に設置されている場合が多いので、見かけたら特に注意して通行しましょう。

